真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年5月1日

事務事業名	芸術文化振興事業	担当課・係	教育委員会　文化課　文化振興係
政策名　No	1　「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連するSDGs･DX	
施策名　No	7　文化芸術の振興と文化財の保護・継承		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	美術館めぐり参加者数	人	62					
	クラシック音楽鑑賞教室参加者数	人	304					
	若手演奏家支援事業参加者数	人	267					
	芸術鑑賞会会員数	人	931					
	アートリンクとちぎ来館者数	人	760					

事業内容

"①美術館めぐり
借り上げバスを利用し、県内外の様々なジャンルの優れた美術館鑑賞機会を提供しており、芸術文化顧問アドバイザーや学芸員により美術館や企画展の楽しみ方等のレクチャーを行う。
②音楽文化振興事業
クラシック音楽鑑賞教室・・・クラシック音楽の聴きどころや作曲家、作品、楽器等に関する講座及び演奏を組み合わせた教室を年２回実施して、市民が広く音楽に親しむ環境を充実させる。
若手演奏家支援事業・・・真岡市に縁のあるクラシック音楽の若手演奏家の発表の場を提供することで、若手演奏家を支援していくためにコンサートを実施している。
③市民芸術鑑賞事業
市民に広く芸術鑑賞の機会を提供し、文化芸術の普及発展を図ることを目的に、「真岡市芸術鑑賞会」として活動している。会員の年会費（2,500円）で運営している。
④真岡市美術展開催事業
優れた美術品を鑑賞する機会として、久保コレクション、宇佐美コレクション以外でテーマに沿った美術品を展示する。
（アートリンクとちぎ）と隔年で開催し、魅力ある展示内容を検討していく。
⑤栃木県立美術館収蔵品展（アートリンクとちぎ）事業
栃木県立美術館の所蔵品を展示し、美術鑑賞の機会を増やし、県立美術館での企画展・常設展への興味や理解に供することを目的として開催している。真岡市美術展と隔年開催で、久保記念観光文化交流館を会場としている。
"

前年度の課題（Check）

美術館めぐりは、オンライン申請を利用し、利便性を向上させた。
市民芸術鑑賞会員数は、コロナの影響により、一時会員数が減ったが戻りつつある。入会申し込み窓口の拡充要望がある。
真岡市美術展と隔年開催となったことに対する意見は特に寄せられておらず、今後も魅力ある展示内容を検討していく。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
"①（美術館めぐり）
6月24日実施:　茨城県近代美術館・笠間日動美術館　62人参加
②（音楽文化振興）
7月11日テーマ「世界の音楽」（上田純子氏）、12月19日テーマ未定、2月8日クラリネット（五月女琴音氏）
③（市民芸術鑑賞）
芸術鑑賞会映画会：年７回、１日２回上映
⑤（アートリンクとちぎ）
12月4日～15日：久保記念観光文化交流館　美術品展示館を会場として、「郷愁の風景　暮らしの美」開催
"

【２】結果と課題（Check）
美術館めぐりは、年１回実施とし参加者は増加した。参加者が固定化がしないよう検討する。
クラシック音楽鑑賞教室や若手演奏家支援事業は、市民が広く音楽に親しむ環境を充実させ参加者にも好評であった。
芸術鑑賞会会員は入会申し込み窓口の拡充により、増加傾向にある。
アートリンクとちぎは、真岡市美術展と隔年開催となったが、県立美術館と連携し魅力ある展示内容としていく。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　□ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　■ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

(1) ただちに取り組むべきこと
美術館めぐりについて、参加者が固定化しないよう広く募集できるような応募方法を検討する。

(2) 長期的な計画で検討すること
若手演奏家支援事業の出演者について、真岡市在住または出身で40歳までという条件該当者の情報収集が課題であるため、事業継続のためには条件を検討する必要がある。